

**<体育市民連帯 声明書>****「2020 東京オリンピックを直ちに延期せよ」**

コロナ 19 が世界のどこでも例外なく拡散の一途である。数十万人が感染して数千人が死亡、その勢いが激しい風の野火のようだ。ついにWHOはパンデックを宣言した。パンデックは、特定伝染性疾病がすべての人に伝染するという意味でWHOの伝染病警報評価ステップ6の中で最高レベルである。伝染病が最悪のレベルに流行していることを意味し、それほどに危険であり少なくとも数ヶ月はさらに持続する。

世界の市民は多くの国家間移動が停止されたし、多くの国が他国籍者の入国を禁止している。医療関係者はコロナ 19 の拡散を防ぐために渾身の力を尽くしており、市民は社会的距離を置くこと実践し苦勞している。残念ながら、韓国フェンシング代表チームがオリンピック準備の欧州キャンプ練習と大会から帰ってきた後、多くの人がコロナ 19 確定判定を受けた。国内外で複数の種目の選手がすでに感染判定を受けたり、遺贈ボックスが続出したりしてスポーツ界も緊張感が高まっている。

しかし、国際オリンピック委員会（IOC）と日本の安倍政府はのどかなオリンピック調子だ。嚴重な今の状況でもオリンピックを延期や中止をしないという発表を堂々としてしまった。IOC 執行委員会で既に決定しておいて意見収集をする種目団体とのビデオ会議をしたという報道を聞いた。IOC と安倍政府はどのような政治的、経済的利益があつてオリンピック開催を固守するのか？ 選手なしで、観客なしでオリンピックをするというのだろうか？ 選手たちと観客の安全よりも7月のオリンピックがより重要なのだろうか？

IOC の支会である大韓民国国家オリンピック委員会（KOC）は大韓体育会である。大韓体育会は IOC の立場について行く格好だ。大韓民国の立場から IOC に意見を伝えなければならない責任は見ることができず、ただ「IOC の東京オリンピック延期議論は不適切」の決定に挙手機の役割をしている。4ヶ月に迫って延期議論が時期尚早と強弁しているが IOC と安倍政府、KOC だけが分かっていないようだ。世界の世論は当然オリンピックの延期が圧倒的であり、さらに日本の内部でも、延期しなければならないという世論が強い。IOC と安倍政府の決定に非難と批判の世論が激しい。ここに我々はコロナ 19 状況で選手たちと観客の安全が保障されない限り、東京オリンピックは延期すべきであるという非常に簡単かつ明確な立場を次のように明らかにする。

**‘IOC と安倍政府はオリンピックを直ちに延期せよ’**

**‘大韓体育会と KOC はオリンピック延期についての立場を IOC に宣明せよ’**

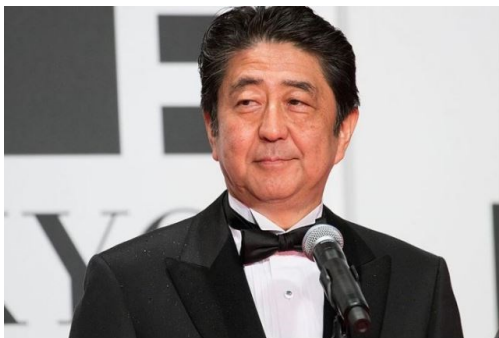
**2020. 3. 20**

**体育市民連帯**

[http://www.sportscm.org/?module=Board&action=SiteBoard&sMode=VIEW\\_FORM&iBrdNo=3&iBrdContNo=178&sBrdContRe=0](http://www.sportscm.org/?module=Board&action=SiteBoard&sMode=VIEW_FORM&iBrdNo=3&iBrdContNo=178&sBrdContRe=0)

## 01 スポーツニアーズ 2020. 3. 16

### 【 日本安倍首相「東京オリンピック、予定通り開催する」 】



© Dick Thomas Johnson

安倍晋三首相がコロナ 19 事態にもかかわらず、今年の夏に予定される 2020 東京オリンピックを日程変更せずに開催すると発表した。

コロナ 19 拡散に全世界が不安に震えている。昨年 12 月に中国で初めて発生したコロナ 19 は、現在恐ろしい速度で全世界に広がっている。米国、フランス、ドイツ、ブラジル、カナダなど世界各地でコロナ 19 確定者が続々と登場している。事態が悪化し、スポーツ界も直撃弾を受けている。すでに、イングランド・プレミアリーグ、スペインリーグ、イタリアセリエ A の日程が中止され、米国プロバスケットボール NBA も確定者の登場でリーグが延期された。米国メジャーリーグ、ニューヨークヤンキースの選手の中にも確定者が登場したというニュースが流れてメジャーリーグも開幕延期が有力になった状況である。

それこそ世界中が混乱に包まれ、多くの人が今夏に予定されている 2020 東京オリンピックも延期しなければならないとの声が高まっている。最近では米国ドナルド・トランプ大統領までが「東京オリンピックは 1 年以上延期されるのが良いようだ」という意見を明らかにした。

しかし、日本政府の考えは違うようだ。日本の安倍首相は 14 日午後 6 時、首相官邸で記者会見を開き、「国際オリンピック委員会 (IOC) と協力してコロナ 19 拡散を防ぐ。加えて、オリンピックを予定通り開催する」という立場を伝えた。状況は良くないがオリンピック開催の延期はないという意味をもう一度明確にしたものである。

\*出典：<https://www.sports-g.com/agweX>

## 02 東亜日報 2020. 3. 20

### 【 誰のためにオリンピックが開かれるのか 】



2004年アテネ五輪マラソンの試合中に先頭を走っていたバンデルレルレイ・デ・リマ (左) を襲うコーネリアスホラン

東亜日報 DB

誰のためにオリンピックが開かれるのか。オリンピック開幕が近づくと浮かぶ場面がある。

2004年、アテネオリンピック最終日だった8月30日。ブラジルのマラソン選手バンデルレイ・デ・リマは42.195kmの5kmを残して2位よりも数百m前を走っていた。速度で見ると2位よりも25秒ほど速かった。リマが優勝するようだった。事件が起きたのは試合への関心が最高潮に達した時であった。観衆の中でベレー帽をかぶってスカートを着た特異な服装の人が飛び出してリマを襲った。暴漢はリマを道路脇の観客の中に連れて行くようにした後、倒した。驚いた人々が暴漢を取り押さえた時に暴漢は、自分の体に世界の終わりが近づいているという文言を巻いていました。暴漢はアイルランドの終末論者であったコーネリアス・ホランだった。彼はすぐにこの世界が終わるという自分の主張を広く知らせるために、世界の人々の注目が集中するオリンピックの花マラソンを狙いました。目を引くための奇異な服を着て。

この場面が象徴的な理由は、オリンピックに出場した選手たちが、特定の目的や利益を狙う者によって利用されたり倒されたりすることを示すからである。結局、リマは不屈の意志で再び起き、3位でゴールインしたが、ホランの行為は世界的な非難を受けた。しかしまた誰かが、あるいはどのかの団体や国が独自の目的や利益だけを過度に打ち出そうと、ホランがリマを倒したようにオリンピックや選手を犠牲にすることがありうる。

新型コロナウイルス感染症（コロナ19）が世界を席卷している今、2020東京オリンピックは岐路に立っている。オリンピックの延期や中止についての国際世論の圧力は大きくなっているが、日本や国際オリンピック委員会（IOC）の両方が正式には強行の意志だけ表明している。参加者の安全を考慮していないような、このような姿に選手とスポーツ人の不満と不安は高まっている。

日本は多くの政治的・経済的効果を持ったオリンピックを日本復興の契機にするという。数十兆ウォンを注ぎ込んで準備したオリンピックを延期または中止することは容易でない。だからといって他人の犠牲を強要することはできない。大きな利益がかかっている、その利益のためにどんなに少数であっても、他人の犠牲を強要することはできないというのが「正義論」（ジョン・ロールズ）の主張だ。誰もが自分の利益のために他人の犠牲を強要したら残るのは野蛮だけだ。オリンピックと関連した金額がいくら大きく見えても人の命と変えられると思うなら、もう一つの拝金主義にすぎない。人類の和合を追求するというオリンピック精神とは合わない。世界中のメディアで今重要なのは、金と政治的利害関係の前に「正しいことを行うことができるか」という指摘が出てくるのはそのためだ。

コロナ19拡散と関連して無理な決定をした場合、日本は自国の利益のために世界の人を道連れにして犠牲にするとの批判と直面するだろう。コロナ19事態が悪化し続けたら、選手団と観光客が大規模に参加して大会を正常に開催することは難しい。したがって日本は「オリンピックを強行する」という主張だけ展開するのではなく、オリンピックの延期や中止を含む、さまざまな状況に対応する開かれた姿勢に変わらなければならない。コロナ19事態が収まって大会が予定通り行われるなら最も良いが、そうでない場合に備えて次善の策を用意するのが合理的である。また日本の顔色を見ているという批判を受けているIOCもより積極的に変わらなければならない。IOCは世界の人々の健康と直結したが事態と関連し、意思決定のプロセスを公開して、より多くの意見を聞かなければならない。そうでなければ巨額の金と政治的利害関係に縛られたオリンピックの当事者が、果たして客観的で適切な意思決定を下すことができるかという国際社会の疑問は大きくなっていくだろう。

誰のためのオリンピックなのか。オリンピックが本当に世界の人のための祭典であれば、その中で誰もが安全で楽しくなければならない。

\*出典：<http://www.donga.com/news/article/all/20200320/100247011/1>

### 03 東亜日報 2020. 3. 20

#### 【 イタリア前オリンピック委員長「IOC 契約よりも人間の生活に価値」 】



国際オリンピック委員会（IOC）の2020東京オリンピック強行方針にイタリアのスポーツ界の大物であるジアニ・ペトルッチ前イタリアオリンピック委員会（CONI）委員長が公然と反発した。ペトルッチ前委員長は20日（韓国時間）、AP通信とのインタビューで「私はオリンピックに反対していない。しかし、オリンピックをまだ続けると述べることは、意思疎通上大きな間違い」と述べた。ペトルッチ前委員長の発言は新型コロナウイルス感染症（コロナ19）の世界的な拡散でも最近IOCから流れてく東京オリンピック正常開催の雰囲気指摘したものと解釈される。

トーマス・バッハIOC委員長は最近、ドイツARD放送とのインタビューで、「予定通り7月24日の開会式を開くことができるように最善を尽くしたい」と述べた。世界保健機関（WHO）の中断要請時には方針に従うという条件をつけたが、現在IOCは東京オリンピックの正常開催を押し通す雰囲気だ。

揺れる政治的地位を、オリンピックを通じて打開しようとする安倍晋三首相は連日バラ色の発言で、全世界に自分たちの意思をほのめかしている。しかし、多くの国の首脳と直接大会に臨む選手たちの考えは違う。いまの状況で東京オリンピック開催は無謀だということだ。ペトルッチ前委員長も反対派の一人である。

「今回のパンデミック（世界的流行）は全世界に影響を与えている」というペトルッチ前委員長は「私は10億ドル規模の契約と保険についてよく知っている。すべてのことを知っている。しかし、人間の生活はそんなものよりもはるかに価値がある」と声を高めた。

オリンピック開催で派生する利益を逃したくないIOCと開催国日本の苦境は理解するが、コロナ19が広範囲に広がっただけに正常開催を放棄するのが正しいのである。

ペトルッチ前委員長はまた、「このような考えをする人は私だけではない。他の人はただ言いたくないだけ」とし「IOCを攻撃したくはない。そこには私が知っている多くの人々がいる。しかし、私は現実主義者だ。今、医療界のニュースを見てみる」と強調した。

ただしペトルッチ前委員長は、「大会の延期と中止のどちらを選択すべきか」という質問に「言う人間は私ではない。彼ら（IOC）がこの問題を言わなければならない」と回答を避けた。欧州水泳連盟とイタリア水泳連盟会長を務めているサンパウロバーレリーは4月中旬を正常開催のタイムリミットとみる。

彼は「現在、多くの人が理想的な条件で練習出来ていない。もしこのような状況が4月まで続けば、オリンピックについて述べるのはとんでもないことだ」と伝えた。

\*出典：<http://www.donga.com/news/Top/article/all/20200320/100251782/1>

04 中央日報 2020. 3. 18

【 1兆ウォン売れたのに...オリンピック中止でも入場券払い戻し不可 】



7月に開催予定の東京オリンピック・パラリンピックが新型コロナウイルス感染症（コロナ19）で中止されても入場券の払い戻しが不可能と見られる。

東京オリンピックのチケットは現在までに合計 508 万枚、パラリンピックは 165 万枚が販売され、チケット収入だけで約 900 億円（約 1 兆ウォン）に達する。

18 日の朝日新聞によると、東京オリンピック入場券購入規約では「当法人が東京オリンピック・パラリンピックのチケット規約に基づいて決定された義務を履行できない場合、その原因が不可抗力による状況の場合には当法人は不履行の責任を負わない」と書かれている。

「不可抗力」には「天災・戦争・暴動・反乱・内乱・テロ・火災・爆発・洪水・盗難・害意による損害・ストライキ・入場制限・気候・第三者による禁制行為・公衆衛生関連の緊急事態・国又は地方公共団体の行為と規制など当法人の制御が及ばない原因」と規定している。東京オリンピックの関係者によると、組織委員会はコロナ19で東京オリンピックが中止された場合は、「公衆衛生関連の緊急事態」に該当すると見て、チケットを払い戻ししない方針だ。

コロナ19が全世界的に拡散しながら、来る夏のオリンピックを予定通り実施するのは難しいという見方が出ているが、日本政府は通常開催への強い意志を表わしている。

安倍晋三首相は16日、主要7カ国（G7）の首脳と画像会談を行った後、「人類がコロナウイルスに勝つ証拠として、東京オリンピックを完全に推進しようという意見がG7レベルで支持を受けた」と主張した。しかし、日本のスポーツ専門メディアのアンケートによると、日本国内でも「東京オリンピックを先送りするか中止しなければならない」という意見が80%にのぼることが分かった。

\*出典：<https://news.joins.com/article/23733225>

## INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 1485-3 スンジョンビル 407号 代表：金商汎

체육시민연대 서울시 서초구 서초동 효령로 230 승정빌딩 407호대표：김상범

Tel：02-2279-8999、E-mail：sports-cm@hanmail.net

ホームページ：<http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com